

【学校教育目標】「総合的な人間力を培い、
地域に参画できる生徒の育成」

【重点目標】春日市の未来を切り拓くシティズンシップ教育の推進

—「我的世界」から「我々の世界」を生きる市民性の育成を通して—

【校訓】
自 尊 創 造
健 造 訓



校長の話

「～1年ふれあい学級を終えて～」

校長 柴田 みどり

9月7日に1年生ふれあい学級を実施しました。夏休み明け、新型コロナウイルスの感染急増により、当初1泊2日で計画していたふれあい学級を前日は1日オンライン授業、2日間の日帰り研修に変更し、感染対策を万全に臨んでいました。そうすると今度は1週間前あたりからまさかの台風11号接近、これまでにない大型で非常に強い台風が接近するとの情報が流れました。6日は福岡県一斉の臨時休校となり、9月7日にようやくグローバルアリーナまでたどり着き、ふれあい学級が実現しました。

本当にここに至るまで紆余曲折ありましたが、無事にふれあい学級を実施できたことに心から感謝いたします。様々な変更にご対応いただいたグローバルアリーナの方々、旅行者やバス会社、写真業者の方々、そして1年部職員、またご理解いただいた保護者の方々、たくさんの方々の支えがあってふれあい学級が実現したことを1年生にはまずしっかり心に留めて欲しいと思います。

さて1年生と一緒にふれあい学級に参加し、生徒の様々な一面を発見いたしました。まず、非常にエネルギーを持っていて元気溢れる学年だということです。午前中は、外でのタグラグビー、昼食を挟んで、午後は体育館での学年レクリエーションと活動がありました。また、バスの行き帰りも、バスレクも含めると出発から帰りまでフル活動の内容でしたが、実に楽しんで過ごしていました。活動の後には、必ず全体で拍手が有り、これもまたノリが良くまとまりを感じました。時間に遅れたり、怒られる場面もあったりとこれから学年全体で前進していくには、改善点も見られましたが、この1年生の持つパワーをぜひ伸ばしていけたらと考えます。

そして、ふれあい学級実行委員の皆さん、1年生全体の先頭に立ち、このふれあい学級が成功するように尽力してくれました。心からお礼を言いたいと思います。今度は、生徒会役員選挙も始まります。学年から学校全体へ、新たな場でリーダー性を発揮してくれることを願っています。

これからさまざまな行事が3年生から1、2年生にバトンタッチする時期が来ています。3年生の築いてきた伝統をさらにつないでいくために学年でつないだ「絆」を学校全体でつないで欲しいと思います。それぞれのさらなるステージに向けて、東中生の頑張りに期待しています。



校長室訪問2年生開始



校長室訪問の1年生が終了し、2年1組から順番に、各学級の班ごと昼休みの時間を利用して、校長室で再開されました。1年生同様に生徒個人の頑張っていることや学校生活の状況など、多岐にわたって校長と話すこととなります。直接校長先生とお話できる機会は少ないですし時間も限られていますので、話す内容を事前に考えておきましょう。

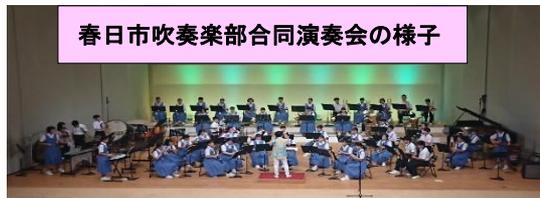
夏休み教育相談

3年生にとっては、進路選択に関わる大事な面談、1・2年生にとっても学習や生き方を考える重要な機会となったことでしょうか。自分の人生を自ら切り拓く、そんな個人でありたいものです。

サマースクールの様子



春日市吹奏楽部合同演奏会の様子



春日市6中サミットの様子



感染予防対策について



現在新型コロナウイルスの感染症について、全国的に見ても高止まりで推移しており、これから先も感染症の影響が続くことが心配されるところです。学校関係でも、陽性者が出ており、マスク着用を適切に行うように指導を行い、引き続き感染症防止対策の意識を高めています。また、休日・時間外の新型コロナウイルス感染症に係る連絡サイトを7月20日に配付しています。休日・時間外における新型コロナウイルスに関する状況については、QRコードもしくはURLからの入力をお願いします。今後も継続して玄関と保健室に**検温表示器**を設置しておりますので、保護者や地域の方々も、来校の際はご活用ください。アルコール手指消毒等も、ご協力をよろしくお願いいたします。